

博物館をより安心・安全に楽しんでいただくためのお願い

- \*新型コロナウイルス感染症の状況により予定が変更になる可能性もあります。予めご了承ください。
- \*ご参加の際はマスクの着用にご協力ください。当日体調に不安がある場合は参加をご遠慮ください。
- <イベントの見方>
- \* **要申込** の表記がないイベントは申込不要です。
- \* **有料** (材料費や保険料など)の表記がないイベントは無料です。

企画展「会津のSAMURAI文化」関連イベント

**野外講座「鶴ヶ城の石垣を見る、歩く」** **有料** (参加費50円) **要申込** (定員20名)  
 9/5(土)8:30~10:00 / 鶴ヶ城公園(福島県立博物館入口集合)  
 近藤真佐夫さん(会津若松市教育委員会)、相田優(当館学芸員)  
**※ただの石ではないんです。石垣の奥深い世界へようこそ!**

**見どころ解説会** 定員20名(先着順) 当館学芸員  
 8/1(土)・8/8(土)・8/13(木)・8/14(金)・8/15(土)・8/22(土)  
 9/5(土)・9/12(土)・9/19(土)  
 各日17:00~17:30(16:30~受付開始) / 講堂 / 当館学芸員  
**※見どころが分かれば、鑑賞がもっと楽しくなる!**

**美術講座「刀匠が触っているのを見てみる刀剣講座」** **要申込** (定員40名)  
 8/16(日)13:30~14:30 / 講堂 / 藤安将平さん(将平鍛刀場刀匠)  
**※刀匠の手元にクローズアップ。刀剣の取り扱い心得を教わります。**  
 \*7/25より変更になりました

常設展関連イベント

**ポイント展 ミニ解説会「秀吉がやってきた!」** **要申込** (定員各回20名)  
 8/7(金) ①11:00~11:30 ②13:30~14:00 / 講堂 / 高橋充(当館学芸員)  
 \*7/31より変更になりました  
**※奥羽仕置430年記念ポイント展第2弾。**

**ポイント展 ミニ解説会「なるほど!太閤検地」** **要申込** (定員各回20名)  
 9/11(金)①11:00~11:30 ②13:30~14:00 / 講堂 / 高橋充(当館学芸員)  
 \*9/25より変更になりました  
**※奥羽仕置430年記念ポイント展第3弾。**

**ポイント展でまなぶ!ふくしまの民俗②「描かれた民俗」** **要申込** (定員40名)  
 8/23(日)13:30~14:30 / 講堂 / 大里正樹(当館学芸員)  
**※生き生きと描かれた、会津の原風景!**

聴いて楽しむ、より深い知の世界

**自然史講座「化石博士の発掘最前線」** **要申込** (定員40名)  
 8/8(土)13:30~14:30 / 講堂 / 猪瀬弘瑛(当館学芸員)  
**※化石から学ぶ、福島、日本の、世界の自然の歴史。**

**特別講座 詩人のいる博物館①「ふくしまを書く」** **要申込** (定員40名)  
 9/12(土)13:30~15:00 / 講堂 / 和合亮一さん(詩人)、千葉清藍さん(旅する書道家)  
**※詩を書く人、書を書く人から見た博物館とは。**

**保存科学講座 2回連続講演会「装飾古墳壁画をまなぼう!」**  
 その1「国指定史跡・清戸迫横穴の保存管理について」 **要申込** (定員40名)  
 9/21(月祝)13:30~15:00 / 講堂 / 吉野高光さん(双葉町教育委員会)  
**※現地保存される国指定史跡 清戸迫横穴!**  
 その2「朱とベンガラー日本列島の古墳にみる二つの赤一」 **要申込** (定員40名)  
 9/27(日)13:30~15:00 / 講堂 / 志賀智史さん(九州国立博物館)  
**※日本列島の古墳を彩る「赤」の正体とは?**

ミュージアムイベント

**ナイトミュージアム** **要申込** (定員60名程度)  
 8/29(土)17:00~19:30の間、1組30分程度の時間割制  
 常設展示室  
**※暗闇の展示室内で、キミはミッションをこなせるか!?**

**親子で楽しむコンサート** **要申込** (定員40名)  
 9/20(日)13:30~14:30 / 講堂  
 善久(zenkyu)さん(オカリナ) 榊原聡子さん(ピアノ)  
**※癒しの楽器、オカリナに聴く世界の子守唄をお届けします。**

<編集後記>  
 今春創刊した当館の新広報紙「なじよな」。創刊号は、2020年度の当館のイベントが一目で分かるイベント案内号でした。皆さまに当館自慢の催し物や保存品を頂くため工夫した紙面。1年間配布を続けるつもりでしたが、新型コロナウイルスの影響で6月中旬までのイベントはすべて中止となり、今後の予定にも大幅に変更が出たので、今は配布を止めています。当初、なじよな2号は7・8月号としてお届けする予定でしたが、7月も展示やイベントの延期・中止が相次いだため、8・9月号のご案内となりました。その分内容の濃いものを目指しましたので、お楽しみ頂けるはずだと思います(A)。

\*要申込のイベントは、原則として開催日の一ヶ月前から(一ヶ月前が休館日の場合はその翌日から)電話もしくは受付カウンターで受け付けます。定員に達したら受付を終了します。  
 \*イベントの日時や内容に変更が出た場合、その都度ホームページなどでお知らせします。

防災の日に考えよう

**防災講座「楽しいそなえ」**  
 9/1(火)13:30~14:30(随時)  
 エントランスホール / 筑波匡介(当館学芸員)  
**※10分程度でできる簡単な作業です。身近なもので防災のそなえを考えましょう。**

キッズ・ファミリー向けイベント

**親子でたのしむワークショップ** **要申込** (定員各回5グループ)  
 8/13(木)・8/14(金)・8/15(土) / 体験学習室ほか  
 各日6回 ①11:00~ ②11:20~ ③11:40~ ④14:00~ ⑤14:20~ ⑥14:40~  
 会津大学短期大学部幼児教育学科の皆さん・当館学芸員  
**※コロナに負けない!アマビエとうちわでふきとぼそう!**  
**10分程度でできるやさしいワークショップです。 9月21日(月祝)も開催予定です。**

<中止になったイベント> 下記イベントは中止になりました。  
 ●8/1・8/2「縄文土器をつくろう」●9/26「縄文土器の野焼き」●8/8・9/12「博物館でもよみかぜ」●8/10「鉱物標本をつくろう」●8/10~16、9/19~22「こどもミニ博物館」●8/15「会津磐梯山・市民盆踊り」●8/22「親子で探検!博物館のウラ側」●8/28「ポイント展ミニ解説会 友の会化石鉱物探検隊ミニ成果展」●9/19「唐人和服をつくろう」  
 <延期になったイベント> ●9/27「よくわかる仏教美術1」→10/11が初回となります。ご注意ください。

**【8月・9月のポイント展】**  
 \*取藏品を中心に、特別に公開する資料などを1点から紹介する小規模展。8月・9月はバリエーション豊かです。ご期待ください。

- ・描かれた民俗-暮らしの記録と地域の行事 6/26~9/9
- ・宇都宮・会津仕置430周年記念②秀吉がやってきた! 7/1~8/21
- ・みんなの震災遺産 7/1~9/20
- ・東京オリンピックとその時代 7/4~9/11
- ・会津藩校日新館の教科書 7/4~9/27
- ・新知見! 墓料遺跡 7/18~9/27
- ・友の会化石鉱物探検隊ミニ成果展 8/1~9/11
- ・会津藩家老田中士佐の短刀 8/22~9/27
- ・宇都宮・会津仕置430周年記念③なるほど!太閤検地 8/22~10/25
- ・わら細工としめ飾り 9/11~11/25
- ・斎藤と会津 9/12~9/27
- ・磐梯山ジオパーク展 9/26~10/30

2020年8月・9月イベントカレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
8月							1
	2	3	4	5	6	7	8
9月	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					

- 休館日 ●イベント開催日 ●延長開催日 ○(延長開催は企画展のみ、19:00まで、入館は18:00まで)
- 常設展観覧料 一般・大学生280円(20名様以上の団体は220円)
- 企画展観覧料「会津のSAMURAI文化」一般・大学生700円(20名様以上の団体は560円)
- 企画展チケットで常設展もご覧いただけます。
- \*高校生以下は常設展・企画展ともに無料です。
- \*県民の日(8/21)は常設展がどなたでも無料でご覧いただけます。
- \*敬老の日(9/21)は常設展・企画展ともにどなたでも無料でご覧いただけます。
- 年間パスポート 1,500円 購入日から一年間、当館主催の企画展や常設展が何度でもご覧いただけます。

観覧料

■JR会津若松駅から約3km タクシーで約10分  
 ■会津若松駅から まちなか周遊バス「ハイカラさん」で約20分  
 (鶴ヶ城三の丸口下車すぐ)  
 ■会津若松駅から まちなか周遊バス「あかべ」で約30分 (鶴ヶ城三の丸口下車すぐ)

車椅子利用者用駐車場  
 博物館西側「鶴ヶ城三の丸口」バス停そば:2台  
 一般駐車場内博物館入り口側:3台  
 ※ご不明の点はお問合せください。

**福島県立博物館**  
 Fukushima Museum

開館時間9:30~17:00(最終入館は16:30まで)  
 \*企画展「会津のSAMURAI文化」開催中の毎週土曜日(8月29日を除く)及び8月13日・14日は、企画展に限り19:00まで観覧時間を延長します(入館は18:00まで)

お問い合わせ TEL0242-28-6000 FAX0242-28-5986 〒965-0807 会津若松市城東町1-25  
 HP https://general-museum.fcs.ed.jp e-mail general-museum@fcs.ed.jp





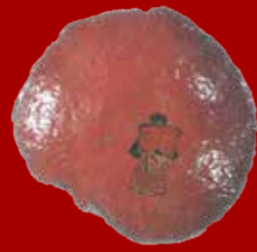
# 会津の文化 SAMURAI

令和2年度 夏の企画展

## 8月1日(土)ー9月22日(火)

前期:8月1日ー8月30日 後期:9月1日ー9月22日  
※新型コロナウイルス感染症の影響により当初の予定から会期を変更しています

- 展示構成
1. 特別展示『会津新藤五』と蒲生氏郷
  2. 収蔵品でたどる会津の文と武
  3. 若松城と武家屋敷



漆器蓋(若松城郭内武家屋敷出土)  
(会津若松市教育委員会蔵)

江戸時代初期の蒲生氏郷の治世で形づくられた若松城や城下町の基礎。保科正之を祖とする会津松平家の時代に藩政の整備や経済の発展が進みました。本展では氏郷にまつわる資料や続く時代の会津藩の武士たち、さらに城や武家屋敷に関する資料を展示公開します。当館の収蔵品をはじめ会津に残る選りすぐりの資料を「見たいだけほか、ふくやま美術館(広島県福山市)の格別のご理解・ご協力のもと」、氏郷が所持したと伝える国宝「短刀 銘 国光(名物会津新藤五)」をゆかりの会津の地で公開させていただきます。

追鳥狩図屏風(個人蔵・当館寄託) ※後期のみ展示

【主催】福島県立博物館・福島民報社【特別協力】ふくやま美術館  
【後援】会津若松市・会津若松市教育委員会  
【協力】一般財団法人 会津若松観光ビューロー・会津若松市ナイトタイムエコノミー推進協議会  
【観覧料】一般・大学生700円(20名以上の団体560円) / 高校生以下 無料  
※企画展料金で常設展もご覧いただけます。9月21日(敬老の日)はどなたでも無料でご覧いただけます。  
【年間パスポート】1,500円  
※ご購入日より一年間、当館の常設展・企画展(当館主催のみ有効)を何回でもご覧いただけます。

## 蒲生氏郷と藩士たちの文武



新任の鈴木晶館長にぎきました  
けんじろ・はま

**Q1 福島けんばくくの影響は何かでしようか?**  
着任して感じたのは、一人一人の個性が光る自由で明るい職場であること。だからこそ様々なアイデアが形になっているのだらうと思いますね。皆様にもそんなことを感じ取ってもらえるような企画をお届けしたいと思います。

**Q2 館長イチ押しけんばくく資料・楽しみ方・おススメの場所などを教えてください。**  
私は、博物館の展示資料を見るとき、あたかも自分がその時代にいて、それを目にしている、使っているという感覚でじっくり楽しみます。ひととおり見終えると、日常から遠く離れて旅してきたような気分になるんです。その後は、レストランで珈琲などを飲んで余韻を楽しむのもいいですよ。

**Q3 けんばくくでこんなことをやってみたい!がありましたら教えてください。**  
前赤坂館長から「博物館は地域の皆様に支えられてきた。地域とのつながりを大切にしてきた。」と伺いました。私は専門家ではないので前館長のようにはいきませんが、博物館の様々な活動の中で可能ならば直接関わって、参加される皆様とふれあい、楽しい時間を分かち合う機会に恵まれたらありがたいと思います。

**Q4 館長の趣味を教えてください。**  
太陽が昇りきる前の朝の清々しい時間にジョギングを楽しんでいます。たまには県庁のサイクリング仲間とロードバイクで走行会を楽しんでいます。版画が大好きで、紙の宝石といわれる蔵書票や木口木版画の持つ、独特の小さな世界に惹かれていて、自らも制作しています。

**Q5 その他、館長の思いをお願いします。**  
今、コロナの影響で生活を大きく変わろうとしています。外に出かけたり人と会ったり、何をするにしても以前にはいはず、ストレスを抱え込みがちです。そのような時こそ身近な文化や自然に触れることをお勧めします。時にはゆっくりした時間を過ごして心をリセットしましょう。明るく、前向きに!

## おうちでも博物館! Webで楽しめるコンテンツ続々公開中

■Facebook・Twitter  
展覧会やイベントの情報ははじめ、けんばくくのホットな話題を随時お届けしています。企画展やテーマ展の展示品を連載形式で紹介したり、普段はなかなか目にすることができない博物館の裏側などをお見せしたりもしていますよ。ぜひフォローしてくださいね。

■YouTube  
2020年5月から福島県立博物館公式YouTubeチャンネルを開設しました。「こどもけんばくちゃんねる」(通称K K C)では、ズッキー&マッキーやおしのびの殿など魅力的な出演者が、博物館の展示品や体験コーナーのことなどを教えてください。また、美術分野の学芸員による展示解説会や美術講座特別編などの動画を公開しています。おとなも子どもも楽しみながら学ぶことができるYouTubeチャンネルです。ご家族でどうぞご覧ください。なお、この真の「きつずなじよな」の問題の答えは、K K Cをみるとわかりますよ。(原)



写真: K K Cより(おしのびの殿が当館展示解説員から昔のおもちゃの遊び方を教わっています!)

## ポイント展+ プラス 初公開のポイント展に注目しました

昨年春、幕末の会津藩家老・田中土佐(玄清)の短刀が、当館に寄託されました。土佐は慶応4年(1868)の戊辰戦争で若松城下に侵攻した新政府軍の迎撃にあたり、命を落としました。この出来事の少し前、土佐は娘の“この”を密かに会津から逃がして行きました。土佐は別れ際に短刀を渡し、「何かあったらこれで喉を突くように」と言い含めたといえます。幼い“この”は炭俵に隠れて、無事に浦賀へと逃れました。短刀はそれ以来ご子孫のもとで代々大切に守られてきました。150年を経て会津へ帰りました短刀が、ポイント展で初公開となります。ぜひご覧ください。(栗原)

ポイント展「会津藩家老田中土佐の短刀」(8/22~9/27)



## かがみわりえまき 収蔵庫なじよな「鏡破絵巻」

今回は、一人の会津藩士の探究心が生んだ「鏡破絵巻」と題する資料です(当館蔵)。その武士の名は瀧田名重。和学(国学)師範として藩校日新館の教育に携わり、教科書『日新館童子訓』の編纂にも関係しています。故実に詳しく多数の古画を模写したと伝えられ、この絵巻もその一つで、天保6年(1835)に写しました。巻末の考証によると、名重が原本としたのは「探幽齋」(江戸幕府の絵師のリーダー・狩野探幽)ゆかりの一本を正徳5年(1715)に誰かが写したもので、名重の時代に知られていた「鏡破」の絵巻とオチが異なるため、古い形態の一本として写して収集したようです。

どんな話ですか? 主人公である近江国の翁が、初めての都旅行で「まるなる物」(丸い物、実は鏡)と出会い、お話がスタートします。鏡を知らない翁は、きれいな女性や宝物がたくさん入った(映り込んだ)「まるもの」を高値で買い取り帰宅。家で翁の帰りを待っていた妻や娘を巻き込んでの大騒動の末(本当はココが面白いのですが…お伝えしきれず残念)、最後には鏡に映った自分を見た翁は「だまされた!」と太刀で鏡を5つにわってしまいます。すると映った自分も5人になり、敵が5人に増えたと勘違いした翁が弓矢を構えると、5人の相手もまた自分に弓矢を構える。翁はたまたま逃げ出す…そんなお話です。ちなみに名重の頃に流布していた絵巻はここで話が終わっていて、彼が写した絵巻には続きがありました。それは、翁が発心して出家する場面です。詞書には「煩惱即菩提」(煩惱と菩提は一体で、煩惱は悟りの縁である)とあり、仏教の教えと深く結びついた終わり方になっていたのです。この場面のありなしでお話が大きく変わるので、名重はそこに注目したのでしょう。

写真やコピーがない時代、研究資料の収集は今よりずっと大変でした。研究のために自ら絵筆をとった、名重の情熱が伝わる資料です。(阿部)



翁が都の商人にだまされて、鏡と知らずに鏡を買う場面  
翁の妻が鏡に映った自分を見て「都の女もたいしたことないわ」と感想をもちます場面

## きつずなじよな

けんばくくから子どもたちへのメッセージコーナー。今回は、常設展示室からのクイズです。分かるかな?

謎の忍者マッキー フタバスズキリュウ スズキー

この模型は、江戸時代の会津若松市の町並みだよ。むかしの城下町がどんな感じだったか見てみようよ!

よし! 町の中に行ってみよう! 忍法「小人の術」!!

マッキーの忍術で小さくなれたよ。すごい! たくさんの人がいて、にぎわっているね!

家の屋根が今とちがうよ! 道の真ん中に水路が通っているね!

あれ? なにやら人が集まっているみたいだぞ! あれはいったい何だろう?

マッキー!! ここでクイズだよ!

## ズッキーからの挑戦!! みんな集まって何を見ているの?

●お店の看板 ●おふれ書きの札 ●狩りのえもの

答えは K K C を見てみよう! 「なじよな」投稿にもヒントが!

「江戸時代の町並みを探検してみよう」の巻



企画展担当 高橋充さん(当館学芸員)

担当者に聞きたし!

Q/ 今回の目玉である「短刀 銘 国光(名物会津新藤五)」について詳しく教えてください。

A/ 新藤五国光は鎌倉時代の刀工で、鎌倉鍛冶の祖と言われ、短刀が多く残っています。江戸幕府八代将軍徳川吉宗の時に作られた名刀リスト「享保名物帳」によれば、もともと会津の領主蒲生氏郷が所有した刀で、後に加賀前田家に渡り、前田家から五代将軍徳川綱吉に献上されました。「会津新藤五」の由来はここから来ています。

Q/ 土曜日は夜間も企画展を楽しめるそうですね?

A/ お客様に分散して展示をお楽しみ頂けるよう、会期中の土曜日とお盆期間(8/13~15)は、本展を19:00まで(入場は18:00まで)延長してご覧頂けるようにしました(イベント「ナイトミュージアム」がある8月29日(土)を除く)。これは会津若松市のナイトタイムエコノミー事業との運動企画で、昨年夏の企画展「興福寺と会津」でも行い好評でした。延長開館日には講堂で17:00から30分程度の見どころ解説会も行います。16:30から受け付けますので、ご観覧と合わせてお越しください。ただし新型コロナウイルス対策のため、定員20名の先着順としますので、ご理解をお願いします。

## テーマ展 美しき刃たちー会津編

7月18日(土)ー9月23日(水) 会場 常設展部門展示室「歴史・美術」

※新型コロナウイルス感染症の影響により当初の予定から会期を変更しています



テーマ展担当 小林めぐみさん(当館学芸員)

Q/ 今のタイミングで、刃のテーマ展を企画した理由は?

A/ 一昨年(平成30年)の夏、当館初となる刀の本格的な展覧会「美しき刃たち」を開催し、3万人近いお客様にご来場頂きました。刀は他の美術工芸品と比べて扱いが難しく、それまで展覧会の開催に踏み切れませんでした。多くの方のご協力で実現しました。そこで改めて感じたのは、刀は武器であり、美術工芸品であり、神への神聖な奉納物でもある点です。すぐれた刀はこの3つの性質を備え、独特な存在感がありました。この経験を経て、皆さんにご覧頂ける機会を設け続けたいと考え、昨年はテーマ展「けんばくくの宝」で館蔵品を中心に紹介しました。今年は企画展「会津のSAMURAI文化」に合わせ、会津の刀に焦点をしばってご覧頂きたいと企画しました。

Q/ どんな刀が展示されますか? 注目点やおススメの一振も合わせて教えてください。

A/ 江戸時代、今の福島県域でも特に刀鍛冶の活躍が目まじかったのが会津です。三善長道や古川兼定といった人気の刀工の作例など、10振をこえる会津の刀が、皆さんをお待ちしています。一昨年の企画展を契機にご寄贈頂いた江戸後期の藤原道長の刀と脇差や、無銘ですが白虎隊士ゆかりと伝わる刀を初公開。オススメは二代三善長道の脇差です。刀工の技、美術品としての美しさ、刀の存在感を兼ね備えた優品です。

※関連イベントは最終ページをご覧ください。